



夏の動物園は11月3日まで毎日開園しています。
9:30~17:15 (最終入園は16:00まで)

ASAHIYAMA ZOO

発行所

旭川市旭山動物園
動物図書館
☎ 36-1104

2014 出産ラッシュ



夏の開園が始まり、旭山動物園では
出産ラッシュが続いています。
赤ちゃんの様子や、これからのみどころを
それぞれの担当さんに聞いてみました。

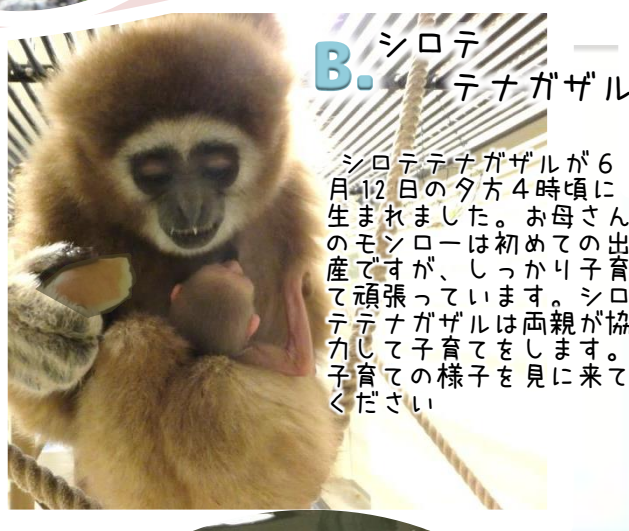
何の赤ちゃんかな？

A. シンリンオオカミ



どんどん大きくなって、大人たちについて歩くことも多くなっています。子どもたちは群れの中でルールを学びながら成長していきます。オオカミは家族みんなで子育てをするので、その様子を観察してみてくださいね。

B. シロテテナガザル



シロテテナガザルが6月12日の夕方4時頃に生まれました。お母さんのモシローは初めての出産ですが、しっかり子育て頑張っています。シロテテナガザルは両親が協力して子育てをします。子育ての様子を見に来てください

C. ホッキョクギツネ



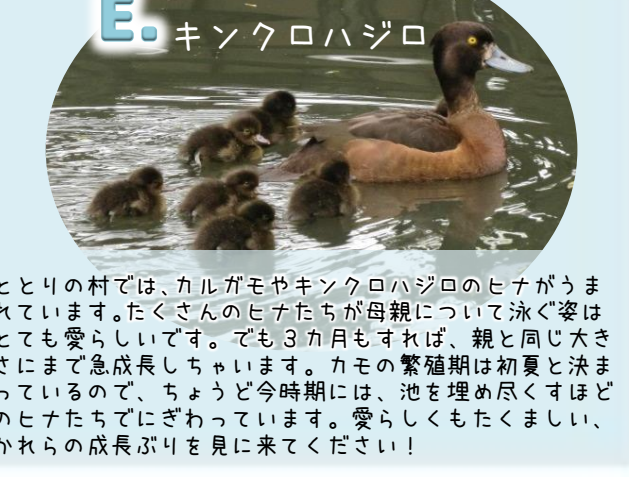
昨年からは新しいペアの展示がはじまり、さっそく今シーズンに産んでくれました。しかし、用意した産箱では産んでくれず、自分たちで掘った巣穴で子育てをしています。メスが穴にこもり、オスはそうじなどで入った担当者を威嚇してくるため穴もよくのぞけず、なかなか姿が見られませんでした。約1ヶ月たった6月中旬からはエサを親が巣穴の近くに持って行って子に与える様子や、巣穴から出てウロウロする姿が見られるようになりました。

D. ニホンザル



ニホンザルは母親が子育てをするので、父親は子育てに参加しません。子育てはしませんが、飼育スタッフがコドモに近づくと順位の高いオスを筆頭に群れ全体で怒って、追い払おうとします。コドモがいる今しか見られない群れの社会をじっくり観察してみてください。

E. キンクロハジロ



とりの村では、カルガモやキンクロハジロのヒナがうまれています。たくさんヒナたちが母親について泳ぐ姿はとっても愛らしいです。でも3か月もすれば、親と同じ大きさにまで急成長しちゃいます。カモの繁殖期は初夏と決まっているので、ちょうど今時期には、池を埋め尽くすほどのヒナたちでにぎわっています。愛らしくもたくましい、かれらの成長ぶりを見に来てください！

F. エゾユキウサギ

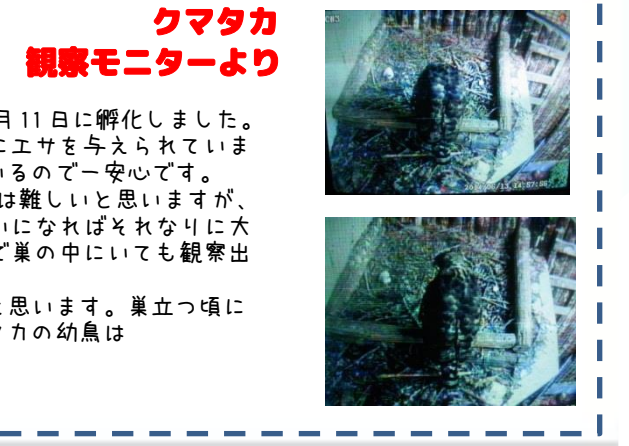


旭山動物園ではエゾユキウサギの繁殖は初めてです。エゾユキウサギは生まれたときから走れて、目が見えて、毛が生えている動物です。小さい頃は、藪やくぼみの中でお母さんが授乳しに来てくれるのをじっと待っています。

ワシ・タカ舎

4月23日に産卵しオス・メスが交代で50日間抱卵し6月11日に孵化しました。昨年も繁殖に成功しましたが、親が雛になかなか上手にエサを与えられていませんでしたが、今年は今のところ上手に雛に給餌をしているので安心です。いまはまだ15cmほどで巣の中にいるのでなかなか観察は難しいと思いますが、親がエサを選ぶ様子や給餌は観察可能で、7月中旬くらいになればそれなりに大きくなっていると思いますし、立ちはじめようとするので巣の中にも観察出来るんじゃないでしょうか。孵化から2ヶ月半ほどで巣立ちをむかえることになると思います。巣立つ頃には親と外見上は同じように見えるかと思いますが、クマタカの幼鳥は虹彩が青いので、双眼鏡で眼を見てみると判別できるでしょう。

クマタカ 観察モニターより



G. タンチョウ



タンチョウの雛はとても成長が早く、3ヶ月ほどで親と同じくらい大きくなります。夏頃までは日に日に大きくなっていきますのでヒナの成長や、子育ての様子などがみどころです。